

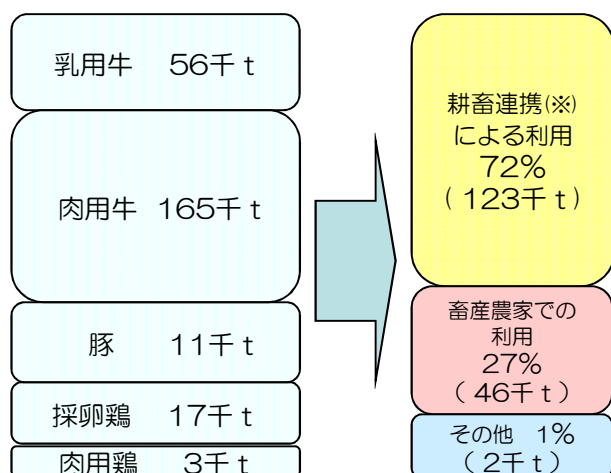
家畜ふん堆肥の生産と利用

家畜排せつ物は、専用の施設において処理され、そのほとんどが堆肥となります。生産された堆肥は、県内の水稻や野菜、飼料作物などの生産に、有機質資源として利活用されています。

今後も、より良質な堆肥づくりの指導や、耕種農家等への利用PRを行うことにより、家畜ふん堆肥の利用促進を図ります。

(1) 家畜ふん堆肥の生産量および堆肥利用量（平成29年度）

家畜ふん尿発生量 252千t 堆肥利用状況171千t



年度	家畜ふん尿発生量 (千t/年)	堆肥量 (千t/年)	耕畜連携による利用率 (%)
H23	281	191	65
H24	264	179	67
H25	261	178	66
H26	258	176	67
H27	259	176	67
H28	243	165	70
H29	252	171	72

(資料：県畜産課調べ)

※耕畜連携：畜産農家から耕種農家への堆肥の供給、逆に耕種農家が転作田等で飼料作物を生産し、畜産農家への家畜飼料の供給など、耕種サイドと畜産サイドが連携を図ること。



専用機械（マニユアスプレッダー）による堆肥散布



発酵堆肥化施設